

Model 07

人事院
人事課能率厚生管理室共済係長



まつだ しょうこ
松田 翔子
Shoko Matsuda

Profile

- 平成11年・人事院採用(II種(行政区分))
管理局総務課広報室
広報の業務
- 平成13年・四国事務局
国家公務員試験・職員研修の実施、勤務時間制度等の照会対応等の業務
- 平成17年・給与局給与第二課
民間企業の役員報酬調査等を担当
- 平成18年・外務省中東アフリカ局アフリカ第一課
アフリカ外交、国際会議実施等に係る業務
- 平成21年・人事院国家公務員倫理審査会事務局倫理審査専門官(参事官付)
国家公務員倫理法令の違反事案調査に係る業務
- 平成23年・派遣行政官短期在外研究員(英国)
現地大学にインターン研究員として所属し、英国省庁を訪問調査
- 人事院給与局生涯設計課所得専門官
再任用制度、退職給付調査に係る業務、課内総務業務
- 平成25年・給与局給与第一課調査第一班主査
職種別民間給与実態調査の実施業務
- 平成27年・人事課能率厚生管理室共済係長
人事院内の共済業務
- 平成28年・～長男出産
～現在 育児休業

様々な経験をさせ

初めての異動で地方へ転勤

採用後2年間霞が関の本院で勤務した後、初めての異動で人事院の四国事務局に転勤しました。生まれ育った東京近郊とは異なる地域で暮らしてみたいという思いがあり、自ら希望しての地方異動でした。仕事面ではまだまだ未熟な部分が多く、周囲に多大な御迷惑をお掛けしながらの勤務だったように思いますが、これまでと違う環境が非常に新鮮で、とても楽しく過ごさせてもらいました。

東京へ戻る

しかし、もともと本院採用であり、自分のキャリア上の選択肢をもう少しいろいろ探してみたいという気持ちも捨てきれず、4年後に本院へ戻りました。その後、他省庁への出向等を含め、多様な業務内容を経験させてもらい、様々なパターンで仕事の進め方を学んだり、自分の甘さに気付かせてもらうなどして、徐々に成長してきた(多少はましになってきた?)気がします。体力的に厳しい時期や、自分の力量不足に悩んで辞めようかと思った時もありましたが、辛かった時ほど結果的に得たものが大きかったという実感は、現在でも自分の支えになっています。

外務省出向中に周りの職員と話をしていくうちに、もし機会があれば自分も海外に滞在してみたいと思うようになりました。その後、運良く行政官

てくれた職場に感謝

短期在外研究員制度で英国に半年間派遣してもらうことができ、短期間ではありますが、外から日本を見ることができたのは非常に貴重な経験となりました。

本院で採用されたにもかかわらず外に出ていた期間の方が長くなってしまった上、専門性と呼べるものも身に付いていないことに引け目を感じたこともあります。今はいろいろなポストに「行ける時に行っておいて良かった」と思います。それぞれの職場で、バックグラウンドの異なる大切な友人たちができたことは生涯の宝です。様々なことにチャレンジさせてくれた職場、応援してくれた上司や先輩、同僚には本当に感謝しています。

育児休業中の現在

30代後半で結婚し、現在は育児休業中です。妊娠中は切迫流産になって突然数週間出勤できなくなり、つわりの辛さと職場への申し訳なさで消えてしまいたいような気持ちになったことも。終始温か

く支えてくださった職場の皆さんへの感謝は言葉では言い表せません。初めての妊娠出産、子育てに当たっては、知らなかったことばかりで、昔の自分を恥ずかしく思うこともしばしば……。休業中は、できるだけ機会を見つけて職場の同僚と会うようにしたり、職場に挨拶に行ったりしているほか、人事課から定期的に送られてくる資料やメールマガジンが職場の雰囲気を知る大切な手掛かりとなっています。また、先日は育休取得者を対象とした内閣人事局主催の研修にも参加し、復帰後の具体的なイメージをするきっかけとなりとても有意義でした。



女性職員のメッセージ

女性だからこそもらえるチャンスがたくさんある時代だと思います。自分がやりたいと思ったことにはどんどんチャレンジしてみてください。